

オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト

高等学校教育課

はじめに

県教育委員会では、「県立高校の将来構想」(H28年3月)において、3つの基本方針の1つに「地域との連携を深化させた人づくりの推進」を掲げており、地域への理解を深め、郷土愛を育むことで、地域の産業や地域社会を支える人づくりの推進を目指しています。

地域と連携した特色ある学校づくりをより一層進めるために、平成27年度から3年間の事業として実施している「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」も、今年度が最終年度となりました。

本号では、これまでの成果や各校の具体的な取組について紹介します。

取組の概要と成果について

取組の3つの柱として、「地域の産業と結びついた活動」「地域と学校の連携強化」「地域活性の拠点化」を掲げており、これらの取組をとおして「地域産業の担い手確保」や、「地域に貢献する人材の育成」、「生徒の地元定着」につながることを目指しています。

事業実施校は以下のとおりです。昨年度から新たに3校を追加指定し、合わせて21校15案件の事業となっています。

【事業実施校】

○ 合同実施

- ・新発田南、新発田農業、新発田商業
- ・長岡商業、長岡農業、長岡工業
- ・新潟県央工業、三条商業、加茂農林

○ 平成27年度～平成29年度指定校

栃尾、吉田、小千谷西、塩沢商工、十日町総合、柏崎工業、高田農業、上越総合技術、海洋

○ 平成28年度～平成29年度指定校

阿賀黎明、正徳館、佐渡総合

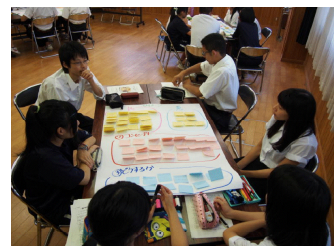
や広報誌などでも大きく取り上げられてきました。栃尾高校における「地域探訪展」や小千谷西高校における「おぢやしごと未来塾」などの地元自治体や企業と協働したイベントの開催や、新潟県央工業高校、三条商業高校、加茂農林高校の3校によるNPO法人「トライ・フューチャー」の設立など、全国でも例の少ない先進的な取組も展開されており、各地域において地域と連携した様々な取組が進められてきました。

地域と連携した取組について

本号では以下の6校の具体的な取組について紹介します。

1 長岡商業高校、長岡農業高校、長岡工業高校

模擬株式会社「長岡CAT」の名称で、地域に根ざした起業家マインドの育成を目標とした取組を進めています。3校が協力して、長岡地域の活性化のために多くのイベントに出店し、地域に愛され、親しまれる活動を行ってきました。長岡農業高校が、地域のNPO法人と共同で開発した「ヤーコン



【3校合同打合せ】

ジャム」や、長岡商業高校が企画し、長岡工業高校が製品化したオリジナルブックカバーなどの販売を行いました。これらの経験を生かし、今年から、長岡市などと協力して、通年店舗「にゃーけっと」のオープンにつなげることができました。イベントでの出店とは異なり、宣伝方法などの一層の工夫が求められますが、3校でアイデアを出し合い、地域に愛される常設店舗を定着させていきたいと考えています。

各校ともこれまでの取組を発展させ、新聞



2 小千谷西高校

「地域の未来を切り拓く人材育成」をコンセプトに地域と連携した教育活動を行い、地域における系統的なキャリア教育の展開を図る取組を進めています。

学校設定科目「キャリア実習」では、今年度2年生15人が、12の事業所で、毎週火曜日の午後に計15回の実習を行っています。2月には、受入れ企業の他に地元関係者等にも幅広く参加していただき、取組成果発表会を開催します。他にも、家庭、芸術、英語等の科目で、地域の協力を得ながら地元の教育資源を活用した授業を行っています。



【職場実習の様子】

また、12月には、小千谷市・小千谷市教育委員会と連携したキャリア教育推進イベント「おぢやしごと未来塾」を、市内の中学1・2年生全員を対象に開催しています。

これらの取組をとおして、学校が地元自治体や産業界と連携したキャリア教育を展開する「おぢやモデル」を構築しています。

3 高田農業高校

「地域と連携した商品開発をとおした6次産業化の推進」をテーマに、食品科学科が中心となり地元の食品企業と連携して新商品を開発し、校外に「山カフェ」という店舗を開いて、接客・販売に取り組んでいます。今年度はこれまでの取組を発展させ、小麦アレルギーがある方も食べられるように、小麦粉の代わりに地元妙高市産の米粉を利用したアレルゲン



【山カフェでの販売】

フリースイーツを開発して販売します。また、店舗をより魅力的なものとするため、森林資源コースがNPO法人与連携し、店内で使用する木製丸テーブルと折りたたみイスや、木製食器を製作しています。更に、草花園芸

コースは、インテリアとして店内を彩るフラワーデザインを作っています。なお、このフラワーデザインは、地元の住民を対象とした園芸講座で技術指導も行っています。これからも、複数の学科が地域と連携して、それらを結びつけながら、「山カフェ」を充実させていきます。

4 佐渡総合高校

「安心・安全」をテーマに、地域の農産物を活用した農産品やオリジナル商品の開発や、トビシマカンゾウやサドオケラなどの佐渡の希少植物の増殖・植栽による環境保護活動を通じて、地域と連携し、郷土愛を育むとともに、ものづくりへの喜びや、責任感を育てています。また、模擬株式会社「STACH Island」



【希少植物の保護活動】

では、農産・加工系列やビジネス・情報系列などの各系列の特徴を生かした横断的な取組を進めており、地域企業等と連携したオリジナル商品の開発・製造・PR・販売などを通じて、地域活性化や地域産業を担う起業家精神と将来の地域振興を担える人材の育成を進めています。

おわりに

実施校の21校それぞれが、地域密着型の特色ある取組を実践しています。詳しくは高等学校教育課のWebページを御覧ください。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kotogakko/>

今後も、市町村や地元企業などと連携した特色ある教育活動を通じて、地域産業の活性化や、スポーツの振興、伝統文化の継承など、社会の発展に貢献できる人材の育成を目指すとともに、コミュニティへの参画や地域課題の解決をとおして、一人一人の能力の伸長と地域の活性化につながる取組を一層進めてまいります。